

第26期14回常任理事会議事録

日時：3月6日 13時30分～17時

場所：気象庁 気象学会事務室

出席者：浅井 竹内 小倉 木田 村上
青木 安富 中村 藤谷 松原

議事

報告事項

A. 各委員会報告

「庶務」

- ・後援名義等使用依頼 2件
- ・2月18日から事務局でパソコン通信利用可能となった。

「会計」

- ・2月分の収支状況
- ・機関誌などの入札結果
- ・1992年度の収支予算書（案）の提示
- ・アジアモンスーン特別号の収支予定の提示

「天気」

- ・2月号と3月号の内容と4月号の予定

「気象集誌」

- ・70巻2号の内容

「教育と普及」

- ・第26回夏季大学計画案

「講演企画」

- ・春季大会の講演数及びプログラム
- ・春季大会関連研究会の開催日程
- ・会計報告及び予算案

「IAMAP」

- ・3月16日に第1回のサーキュラーの出版
- ・IAMAP 実行委員会の作業の進捗状況について報告された。

「通信メディア」

- ・1月の着信件数（345）と内容

1992年度学会賞について

選考委員長から候補者の報告があったことが理事長から報告された。細則に基づいて理事投票を行う。

B. 審議事項

1. 第13回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 1992年度の収支予算書の再改訂案が審議された。
3. アジアモンスーン特別号の収支見直しと販売方法について審議した。
4. 会員の新規加入について、個人12名が承認された。また、退会について、個人9名、団体1の報告があった。
5. 会費の改訂について

会費の値上げ趣旨及び値上げ幅について「天気」掲載案の検討が行われ全理事に再度意見を求めることとした。

6. 中国提案の「集中豪雨と洪水に関するシンポジウム」について

中国国家気象局からの共催提案を受け入れることとした。また、シンポジウム参加希望者に対する助成は国際学術交流委員会が検討することとした。

その他

気象審議会の答申について

「社会の高度情報化に適合する気象サービスのあり方について」に関する気象審議会の検討状況について、気象庁の担当官から説明を受けた。